



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R7 年度 CS通信No.3 R7.6.10



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

西海小 5 年児童が「田植え」体験(5/21)



児童 7 名が、南金沢町の兼平さんの田んぼで田植え体験を行いました。田植え体験では、学校支援ボランティア 4 名、地元のお手伝い 2 名、兼平さん家族 3 名が、児童の活動支援を行いました。

児童と担任の佐藤先生は、はだしになって田んぼに入り、兼平さんが田植え定規で型をつけたところに沿って、苗を植えていきました。

はじめは、泥状になった田んぼから足を抜くのが大変で、大きな声を上げていましたが、慣れてくると、声を上げることなく、スムーズに苗を植えることができるようになりました。

ボランティアの皆さんは、苗の植え方を教えながら一緒に作業したり、苗を運んだりしました。

兼平さんに話を聞くと、

「ほとんどのこどもたちが、田植えは初めてだと思いますが、予想以上に上手にできました。」と、話していました。

今日、植えた苗はもち米で、秋に稲刈りをした後に、みんなでもちつきをするということです。

第 1 回学校運営協議会開催(5/23)



はじめに 3 校の校長先生から、今年度の学校運営方針について、説明がありました。

鯨ヶ沢中学校では、今年度の努力目標(めざす生徒像)をみんなで考え、「挑戦力」「判断力」「共生力」としました。そして、めざす生徒像を全員が意識して教育活動を行うということでした。

舞戸小学校では、確かな学力の定着と向上を目指し、きめ細やかな指導の充実と工夫(TT・専科・少人数指導・個別指導を通して)、ICT の効果的な活用を重点目標として掲げました。

西海小学校では、学校支援ボランティアの活用、地域の方々を講師にしたクラブ活動、廃品回収等を行い、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進していくということでした。

その後、今年度の事業計画、委員研修会、学校訪問、CS タウンミーティング等について、事務局から提案があり、意見を出し合いました。

西北中学校体育大会夏季大会壮行式(6/6)



はじめに、10 の運動部が、順番にステージに上がり、選手の紹介と決意表明を行いました。

次に、水泳部代表生徒が、「仲間との絆を信じて、全力で頑張ります。」と、選手宣誓を行いました。

最後に、校長先生から、「心を動かされる体験をたくさんしてください。みんなにありがとうと言える気持ちを持ち帰ってください。」と、激励の言葉がありました。

今回、地域の方々にも壮行式を見てほしいということで、町の公式 LINE で周知を図りました。

今後も見てほしい行事を公式 LINE 等でお知らせしていきますので、どうぞ多数ご参加ください。